

## ふじさわ男女共同参画プラン2020重点目標ごとの成果指標

### (1) 重点目標1 人権を尊重した男女共同参画社会づくり

	改定時実績 (平成28年 度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 (令和2年度)
<b>■男女の地位の平等感</b> 社会通念・慣習・しきたりで、「平等になっ ている」と回答した市民の割合 (人権男女共同平和課)	10.8% (平成25年実施市民 意識調査結果)	—	9.7% (平成30年実施市民 意識調査結果)	—	30.0%
<b>■固定的な性別役割分担意識につ                      いて反対と思う人の割合</b> 「男は仕事、女は家庭」という考え方に 対して、「反対」「どちらかといえば反対」と 思う人の割合 (人権男女共同平和課)	53.8% (平成25年実施市民 意識調査結果)	—	61.2% (平成30年実施市民 意識調査結果)	—	70.0%
<b>■男女共同参画(社会)という言葉                      の認知状況<sup>※1</sup></b> (人権男女共同平和課)	64.2% (平成25年実施市民 意識調査結果)	—	63.2% (平成30年実施市民 意識調査結果)	—	100%

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標

### (2) 重点目標2 あらゆる分野への男女共同参画の促進

	改定時実績 (平成28年 度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 (令和2年度)
<b>■市の政策・方針決定過程への女                      性の参画</b> 地域を含めた藤沢市独自の審議会などへの女 性登用比率 (人権男女共同平和課)	42.0% (平成27.4.1現在)	41.5% (平成29.4.1現在)	41.3% (平成30.4.1現在)	42.1% (平成31.4.1現在)	50.0%
<b>■市内企業の管理職(課長相当職                      以上)に占める女性の割合<sup>※1</sup></b> (人権男女共同平和課・産業労働課)	6.5% (平成26年度神奈川 県調査結果)	—	10.0% (平成30年度企業調 査結果)	—	15.0%
<b>■地域活動に参加したことがある                      男性の割合(直近2年間)</b> 町内会・自治会、PTA、地域での自主的な グループ・サークル活動などに参加したこ とのある男性の割合 (人権男女共同平和課)	49.3% (平成25年度市民意 識調査結果)	—	57.3% (平成30年度市民意 識調査結果)	—	70.0%

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標

(3) 重点目標3 男女の仕事と生活の調和

	改定時実績 (平成28年 度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 (令和2年度)
■ワーク・ライフ・バランス推進 の仕組みを導入している市内企業 の割合 (人権男女共同平和課・産業労働課)	54.3% (平成26年度調査結 果)	—	83.7% (平成30年度企業調 査結果)	—	65.0%
■6歳未満の子どもを持つ夫の育 児・家事関連時間※1 6歳未満の子どもを持つ夫婦と子どもの世帯 の夫の1日あたりの「家事」、「介護・看 護」、「育児」及び「買物」の合計時間(週全 体平均) (人権男女共同平和課)	1日あたり67分 (平成23年度総務省 調査結果)	—	1日あたり 227.3分 (平成30年度市民意 識調査結果) ※総務省調査とは調査 の方式は異なる	—	1日あたり150分
■保育の充実度 待機児童数 (保育課)	83人 (平成27.4.1現在)	148人 (平成29.4.1現在)	174人 (平成30.4.1現在)	164人 (平成31.4.1現在)	0人

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標

(4) 重点目標4 性の尊重とあらゆる暴力の根絶

	改定時実績 (平成28年 度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 (令和2年度)
■ドメスティック・バイオレンス (DV)被害を受けた男女の割合 配偶者・恋人間で何らかの暴力(無視をす る、怒鳴るなどの精神的暴力を含む)を受けた ことのある男女の割合 (人権男女共同平和課)	女性：27.0% 男性：12.2% (平成25年実施市民 意識調査結果)	—	女性：24.7% 男性：11.8% (平成30年実施市民 意識調査結果)	—	女性：20.0% 男性：8.0%
■DV相談窓口の認知状況※1 DV相談窓口を知っている人の割合 (人権男女共同平和課)	58.9% (平成25年実施市民 意識調査結果)	—	41.3% (平成30年実施市民 意識調査結果)	—	100%※2
■セクシュアル・ハラスメントや パワー・ハラスメント被害を受け た男女の割合 職場・地域・学校などでセクシュアル・ハラ スメントやパワー・ハラスメントを受けたこと のある男女の割合 (人権男女共同平和課)	女性：48.5% 男性：18.1% (平成25年実施市民 意識調査結果)	—	女性：50.1% 男性：20.0% (平成30年実施市民 意識調査結果)	—	女性：40.0% 男性：12.0%

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標

※2 国の目標値は70%

(5) 重点目標5 男女の健康支援と安心して暮らせる環境づくり

	改定時実績 (平成28年 度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 (令和2年度)
■女性特有のがん検診の受診率※1					
①子宮頸がん検診の受診率	①26.8%	①28.3%	①28.2%	①28.2%	①50.0%
②乳がん検診の受診率 (健康増進課)	②20.3% (平成26年度実績)	②24.3%	②25.3%	②27.2%	②50.0%
■両親学級(マタニティクラス) の参加者数 (子ども健康課)	1,326人 (平成26年度実績)	1,605人	1,579人	1,291人	1,500人

※1 内閣府策定第4次男女共同参画基本計画の成果目標